

## 世界を旅するインド人 インドの「トラベルテック」企業は世界の旅行需要の支えに

### メイド・イン・インド ～オンライン予約サイトの裏方にインド企業あり～

#### ▶ インド人旅行需要の取り込みは各国の経済的利益に直結

GoGo 凄インド! では、以前にインドの旅行需要拡大について取り上げました ([vol.27](#)、[vol.42](#)、[vol.46](#)) ように、インドへの旅行客（インバウンド）が着実に増加し、各空港利用旅客数も大きく伸びています。

一方で、インド国民の海外旅行（アウトバウンド）も大きな伸びを示しています。2022年にアジア最大のアウトバウンド供給国に浮上、**前年比190%もの高い伸び**を示しました。2023年以降もこの傾向は続いていると予想されています。

インドのアウトバウンド市場の成長が著しいこともあり、潜在的に巨大化する市場を取り込むことは経済的利益に直結するため、米国際貿易局がインドからアメリカへのインバウンド需要を一段と取り込むことの重要性を掲げたレポートを2024年1月に発表しているほどです。



#### ▶ 「トラベルテック」の経済的恩恵

旅行関連の予約をオンラインで行う割合が高まっていますが、デジタル大国インドでも同じ状況にあります。オンライン上でAIやソフトウェアを駆使した旅行サービス技術は「**トラベルテック**」と呼ばれています。その世界的な旅行業界の見本市**ITB**は、巨大市場インドにおいて定期的に**トラベルテック・インディア**を開催（併催）しており、2024年9月にムンバイで実施される予定です。2023年には、インディアン・ホテルズやラリ・スリ・ホスピタリティ・グループ等のインドを代表するホテル・チェーンや世界的レンタカー・チェーンのエイビス等の旅行者に直接サービスを展開する企業の多くが参加していたようです。

**インドが得意とするIT関連・ソフトウェア関連企業も多く参加**し、宿泊先や移動手段の検索や予約するためのウェブ・サイトの裏方（SaaS; サービスとしてのソフトウェア提供企業）として世界展開している**レートゲイン・トラベル・テクノロジーズ**やゾーホー、エントロピック、リーナAI等のインド企業も多数参加していたようです。

これらインドのトラベルテック企業は、まだまだ小ぶりな企業が多い状況ですが、インドの証券取引所に上場し、世界の主要旅行関連企業へのソフトウェア・サービス提供を通じて急成長しています。

急成長の背景はズバリ、14億人もの人口を抱える**インド国内市場で急拡大する中間層の旅行需要を取り込みつつ、ITスキルや英語力を生かして世界の旅行市場をも取り込む**チカラ。今後も、その成長から目が離せませんね。

出所：各種資料を基にバインブリッジ・インベストメンツ作成。

## ご留意事項

- 当資料は、情報の提供を目的として、パインブリッジ・インベストメンツが作成した参考資料です。金融商品取引法に基づく開示書類ではありませんし、特定の有価証券の売買、ファンド、商品を勧誘、推奨するものではありません。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性・完全性について当社が責任を負うものではありません。当資料中の記載事項、数値、図表等は、当資料作成日時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。なお、当資料中のいかなる記載事項も、将来の投資機会または運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産（外貨建資産には為替変動リスクもあります。）を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書（交付目論見書）をご覧ください。



パインブリッジ・インベストメンツ株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第307号  
加入協会：一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会  
一般社団法人第二種金融商品取引業協会